

# 近江町埋蔵文化財調査集報 5

——町内遺跡発掘調査報告書——

2 0 0 5

滋 賀 県 坂 田 郡

近 江 町 教 育 委 員 会

## 序

近江町は、古代より近畿・東海・北陸を結ぶ交通の要衝とされ、滋賀県内においても、周知の埋蔵文化財包蔵地の多い町として知られています。

これら包蔵地上で実施される各種開発行為に対しては『文化財保護法』に基づく調整協議をおこない、必要に応じて試掘調査・発掘調査を実施しています。

ここに報告いたしますのは、平成12年度より16年度までの5年間に実施した調査です。発掘調査1件・試掘調査64件から構成されるいずれも小規模な調査ではありますが、その調査で記録された資料は、近江町の歴史や文化を理解する上で、欠くことのできない貴重なものです。

この報告を通じて、地域史の正しい理解が進み、埋蔵文化財保護への理解と認識を深めていただければ、幸いです。

末筆になりましたが、同事業にご協力いただきました関係者の皆様と関係諸機関に熱くお礼申し上げます。

2005（平成17）年 3月

近江町教育委員会

教育長 戸田隆三

## 例 言

1. 本書は、国庫補助事業埋蔵文化財（近江町内遺跡）発掘調査の報告書であり、平成12年度より平成16年度までの5年間に実施した事業の報告にあたる。
2. この事業では近江町内の埋蔵文化財包蔵地を対象として、試掘調査64件・確認調査4件・発掘調査1件を実施しており、このうち息長古墳群確認調査4件を除き、64件の試掘調査と1件の発掘調査について報告するものである。
3. この調査の体制は下記のとおりである。

調査主体	近江町教育委員会	教育長	戸田隆三
調査事務局	社会教育課	課長	松居義治
調査担当者		専門員	宮崎幹也
(協力組織)	発掘作業		近江町生涯現役センター
	遺跡測量		金城測量設計株式会社

4. 本調査には、次の方々の参加および協力を得た、記して謝意を表したい。  
岩橋隆浩・宇野茂樹・円城伸彦・大林宗男・粕渕宏昭・桂田峰男・木下秀行・  
小北晶男・高居芳美・高畑光昭・高橋順之・田辺久佳・豊田清一・中井 均・  
中川治美・中川通士・藤本史子・古野四郎・森下章司・吉田幸吉  
(五十音順、敬称略)
5. 本書で使用した方位は、新平面直角座標系VIを基準としている。また標高はTP（東京湾平均海面高度）を用いた。
6. 本書の執筆では、一部で大手前大学史学研究所 藤本史子氏の手を煩わせた。記して謝意を表したい。これによって第4章の執筆を藤本が担当し、その他を宮崎幹也が担当して編集した。

## 目 次

第1章	町内遺跡発掘調査事業の概要	1
第2章	平成12年度～16年度の調査概要	3
第3章	調査した遺跡の概要	7
第4章	碓遺跡第4次調査の出土遺物	11
第5章	ま と め	12

## 挿 図 目 次

第1図	調査地点位置図 (S=1/50,000)	2
第2図	西火打遺跡・碓遺跡・高溝遺跡 調査地位置図	6
第3図	高溝遺跡遺構図1 (S=1/250)	8
第4図	高溝遺跡遺構図2 (S=1/250)	8
第5図	今井屋敷遺跡 調査地位置図 (S=1/5,000)	10
第6図	碓遺跡第4次調査位置図 (S=1/250)	10
第7図	碓遺跡第4次調査出土遺物 (S=1/4)	11

## 図 版 目 次

図版 1	(上) 調査前状況	
	(下) 試掘調査風景	
図版 2	(上) 高溝遺跡 試掘調査 (5)	
	(下) 高溝遺跡 試掘調査 (5)	
図版 3	(上) 碓遺跡 試掘調査風景	
	(下) 高溝遺跡 試掘調査 (5)	
図版 4	(上) 碓遺跡第4次調査 T-3	
	(下) 碓遺跡第4次調査出土遺物 (灰釉陶器・黒色土器)	

## 第1章 町内遺跡発掘調査事業の概要

近江町では、1990（平成2）年より国庫補助事業町内遺跡発掘調査事業を展開しており、今年度で15年目に相当する。このうち平成2年度～6年度に実施した調査については『近江町文化財調査報告書第18集 近江町埋蔵文化財調査集報1』（宮崎1995）に報告し、平成7年度～11年度に実施した調査については『近江町文化財調査報告書第21集 近江町埋蔵文化財調査集報3』（宮崎2001）に報告したところである。

また同一事業の中で平成8～11年度に実施した息長古墳群詳細分布調査事業については『近江町文化財調査報告書第20集 息長古墳群1』（宮崎2000）に報告し、平成13年度に実施した息長古墳群（人塚山古墳）確認調査については既に『近江町文化財調査報告書第24集 息長古墳群3』（宮崎2003）に報告したところである。

さらに平成14年度以降に実施した息長古墳群（定納1号墳・定納5号墳）確認調査については、平成17年度事業の中で報告書の刊行を予定しており、これを除いた平成12年度～16年度の町内遺跡発掘調査事業が今回報告の対象となっている。

現在、近江町域には計108箇所の遺跡が「埋蔵文化財包蔵地」として周知されており、これについては縮尺1万分の1『近江町遺跡地図』を調整起訴資料としている。また滋賀県教育委員会の発行する『滋賀県遺跡地図』に記載される範囲も同一のものとなっている。

近江町教育委員会では、農用地除外申請・農地転用・民間開発・建築確認・公共事業の5つ事象を対象として埋蔵文化財の保護に関する審査・協議をおこない、必要に応じて調査を実施して記録化をおこなっている。平成15年度実績では、農用地除外申請に係るもの13件・農地転用に係るもの56件・民間開発に係るもの7件・建築確認に係るもの77件・公共事業に係るもの5件の計158件について審査・協議をおこなった。これらについては必要に応じて「慎重工事」「試掘調査」「発掘調査」等の指示をしているが、平成12年度～16年度の間に、試掘調査64件と発掘調査1件の計65件の調査を実施した。これらの調査が、今回の報告対象である。



北  
北  
湖



第1図 調査地点位置図 (S=1/50,000)

(番号は次頁の一覧表に整合する)

## 第2章 平成12年度～16年度の調査概要

平成12年度から平成16年度までの5年間、近江町内に実施された埋蔵文化財の調査は以下のとおりであり、近江町教育委員会が調査主体・調査機関となり、社会教育課が担当した。

平成12年度は、今井屋敷遺跡1件・高溝遺跡5件・神塚古墳1件・辻ノ前遺跡2件、計9件の試掘調査を実施した。高溝遺跡では周知範囲の北端で農地転用が増加し調査となった。また神塚古墳ではまちづくり事業が進むなか、範囲確認の調査を実施した。

平成13年度は、碓遺跡第4次発掘調査を実施し、狐塚遺跡と隣接する周知範囲の北東端を明らかにした。また人塚山古墳の確認調査を実施したが、これについては別個に発掘調査を刊行している。

平成14年度～16年度については、定納古墳の確認調査と併行して各種の試掘調査等を実施しており、定納古墳確認調査については平成17年度に報告書の刊行を予定している。なお平成14年度の試掘調査は、碓遺跡を対象とした1件のみであった。

平成15年度は、西火打遺跡1件・碓遺跡26件の試掘調査を実施した。個人住宅の建設・住宅団地の造成・携帯電話基地局などを原因とするものである。住宅団地の造成に関連す別個に原因者負担による碓遺跡第5次発掘調査を実施し、報告している。

平成16年度は、碓遺跡27件の試掘調査を実施した。個人住宅の建設・住宅団地の造成を原因とするもので、後者については別個に原因者負担による碓遺跡第6次発掘調査を実施し、こちらも報告書を刊行している。

国庫補助町内遺跡発掘調査事業実施一覧（平成12年度～16年度）

No.	年度	調査名	調査面積	住所	備考
1	平成12年度	今井屋敷遺跡試掘調査	100 m <sup>2</sup>	近江町箕浦	範囲確認
2		高溝遺跡試掘調査（3）	25 m <sup>2</sup>	近江町高溝前川276-3	資材置場
3		高溝遺跡試掘調査（4）	25 m <sup>2</sup>	近江町高溝前川275-3	資材置場
4		高溝遺跡試掘調査（5）	350 m <sup>2</sup>	近江町高溝前川276-1	資材置場
5		高溝遺跡試掘調査（6）	100 m <sup>2</sup>	近江町高溝前川275-1	資材置場
6		高溝遺跡試掘調査（7）	100 m <sup>2</sup>	近江町高溝前川274-1	資材置場
7		神塚古墳試掘調査	50 m <sup>2</sup>	近江町西円寺神塚	範囲確認
8		辻ノ前遺跡試掘調査（14-1）	25 m <sup>2</sup>	近江町顔戸荒毛492-8	個人住宅

9	平成 12 年度	辻ノ前遺跡試掘調査 (14-2)	25 m <sup>2</sup>	近江町顔戸荒毛493-9	個人住宅
10	平成 13 年度	碓遺跡第 4 次発掘調査	300 m <sup>2</sup>	近江町高溝井ノ脇314	個人住宅
11	平成 14 年度	碓遺跡試掘調査 (14-1)	150 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木97-1	個人住宅
12	平成 15 年度	西火打遺跡試掘調査	20 m <sup>2</sup>	近江町長沢西火打351	携帯電話基地局
13		碓遺跡試掘調査 (15-1)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A 1	個人住宅
14		碓遺跡試掘調査 (15-2)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A 2	個人住宅
15		碓遺跡試掘調査 (15-3)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A 3	個人住宅
16		碓遺跡試掘調査 (15-4)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A 4	個人住宅
17		碓遺跡試掘調査 (15-5)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A 5	個人住宅
18		碓遺跡試掘調査 (15-6)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A 6	個人住宅
19		碓遺跡試掘調査 (15-7)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A 7	個人住宅
20		碓遺跡試掘調査 (15-8)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A 8	個人住宅
21		碓遺跡試掘調査 (15-9)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A 9	個人住宅
22		碓遺跡試掘調査 (15-10)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A10	個人住宅
23		碓遺跡試掘調査 (15-11)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A11	個人住宅
24		碓遺跡試掘調査 (15-12)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A12	個人住宅
25		碓遺跡試掘調査 (15-13)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A13	個人住宅
26		碓遺跡試掘調査 (15-14)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A14	個人住宅
27		碓遺跡試掘調査 (15-15)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A15	個人住宅
28		碓遺跡試掘調査 (15-16)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A16	個人住宅
29		碓遺跡試掘調査 (15-17)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A17	個人住宅
30		碓遺跡試掘調査 (15-18)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A18	個人住宅
31		碓遺跡試掘調査 (15-19)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A19	個人住宅
32		碓遺跡試掘調査 (15-20)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A20	個人住宅
33		碓遺跡試掘調査 (15-21)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A21	個人住宅
34		碓遺跡試掘調査 (15-22)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A22	個人住宅
35		碓遺跡試掘調査 (15-23)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A23	個人住宅
36		碓遺跡試掘調査 (15-24)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A24	個人住宅
37		碓遺跡試掘調査 (15-25)	40 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 A25	公園
38		碓遺跡試掘調査 (15-26)	180 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木97-1	道路
39	平成 16 年度	碓遺跡試掘調査 (15-1)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B 1	個人住宅
40		碓遺跡試掘調査 (15-2)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B 2	個人住宅
41		碓遺跡試掘調査 (15-3)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B 3	個人住宅
42		碓遺跡試掘調査 (15-4)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B 4	個人住宅



43	平成 16 年度	碇遺跡試掘調査 (15-5)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B 5	個人住宅
44		碇遺跡試掘調査 (15-6)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B 6	個人住宅
45		碇遺跡試掘調査 (15-7)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B 7	個人住宅
46		碇遺跡試掘調査 (15-8)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B 8	個人住宅
47		碇遺跡試掘調査 (15-9)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B 9	個人住宅
48		碇遺跡試掘調査 (15-10)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B10	個人住宅
49		碇遺跡試掘調査 (15-11)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B11	個人住宅
50		碇遺跡試掘調査 (15-12)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B12	個人住宅
51		碇遺跡試掘調査 (15-13)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B13	個人住宅
52		碇遺跡試掘調査 (15-14)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B14	個人住宅
53		碇遺跡試掘調査 (15-15)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B15	個人住宅
54		碇遺跡試掘調査 (15-16)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B16	個人住宅
55		碇遺跡試掘調査 (15-17)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B17	個人住宅
56		碇遺跡試掘調査 (15-18)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B18	個人住宅
57		碇遺跡試掘調査 (15-19)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B19	個人住宅
58		碇遺跡試掘調査 (15-20)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B20	個人住宅
59		碇遺跡試掘調査 (15-21)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B21	個人住宅
60		碇遺跡試掘調査 (15-22)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B22	個人住宅
61		碇遺跡試掘調査 (15-23)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B23	個人住宅
62		碇遺跡試掘調査 (15-24)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B24	個人住宅
63		碇遺跡試掘調査 (15-25)	20 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木 B25	個人住宅
64		碇遺跡試掘調査 (15-26)	40 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木	集会所
65		碇遺跡試掘調査 (15-27)	200 m <sup>2</sup>	近江町宇賀野東柿木97-1	道路



第2図 西火打遺跡・碓遺跡・高溝遺跡 調査位置図

## 第3章 調査した遺跡の概要

### ① 今井屋敷遺跡

新庄・箕浦城遺跡の西側に隣接する南北80m・東西80m規模の中世城郭遺跡である。箕浦集落の東端の畑地で試掘調査を実施し、柱穴などの遺構の広がりを確認した。出土遺物は土師器の細片ばかりで、年代を明らかにすることはできない。

### ② 高溝遺跡

高溝集落の西側に隣接する南北450m・東西300m規模の遺跡である。縄文時代・弥生時代・古墳時代・平安時代にわたる複合集落遺跡である。近年の調査は、周知範囲の北端部に集中しており、北側に隣接する法勝寺遺跡との境界域を対象としている。

北隣の法勝寺遺跡は、縄文時代早期以降10時期の遺構が重層する複合遺跡であるが、高溝遺跡との接点ちかくでは古代寺院の存在が知られている。寺院の推定地は、周辺の水田よりも2mほど高い畑地となっており、高溝遺跡と接する畑地南端で大きく傾斜していくことが明らかになっている。すなわち調査の集中する高溝遺跡の北端部は、法勝寺遺跡の寺院正面に該当しており、南大門の前方に東西方向の溝が伸びていたことが判明している。この溝の内部からは、瓦・須恵器・土師器などが出土しているが、その大半は法勝寺遺跡の寺院に関連する遺物である。

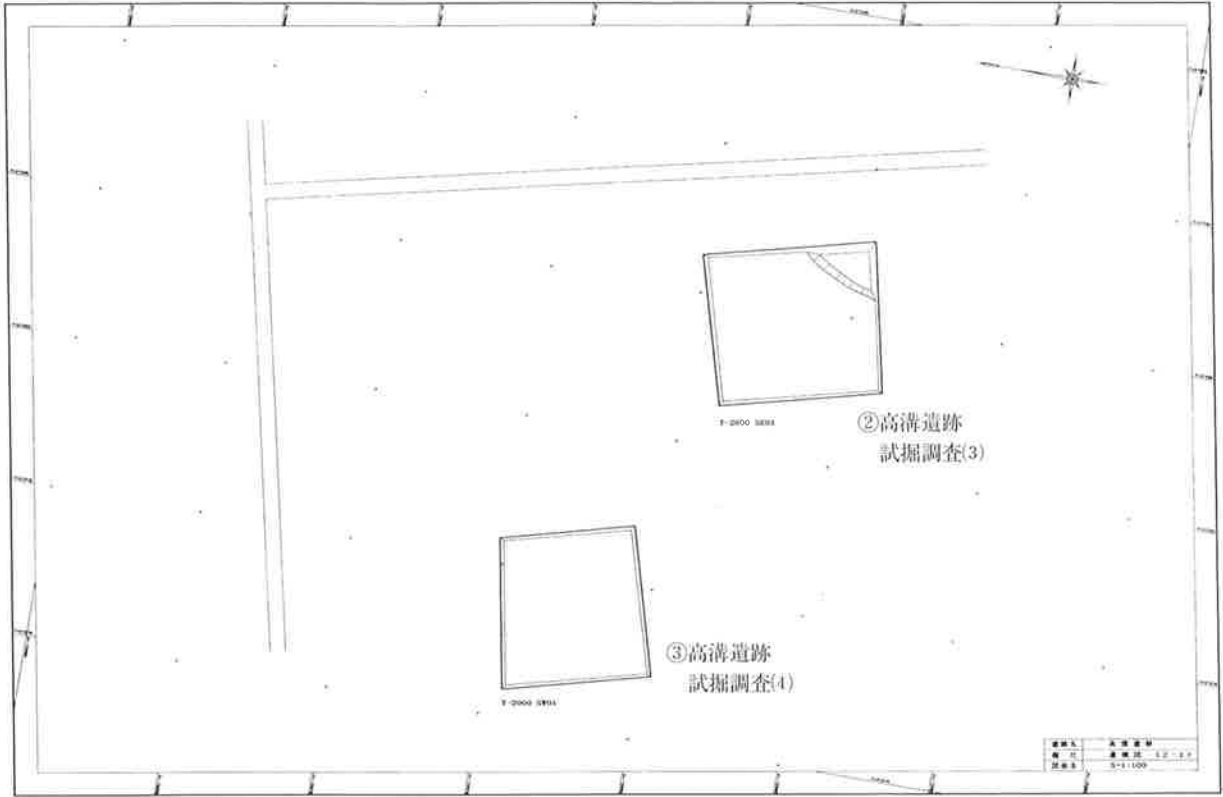
### ③ 辻ノ前遺跡

顔戸集落の南西端に位置する古墳時代前期と平安時代の遺物散布地である。現在の近江町役場庁舎の西隣の水田地帯に位置しており、沼沢地東縁部を中心とした古墳時代前期の遺物散布地である。過去には平成元年度の一般工事において多量の土器出土をみているが、遺跡の実態は明らかでない。今回の試掘調査においては、具体的な資料を得ることはできなかった。

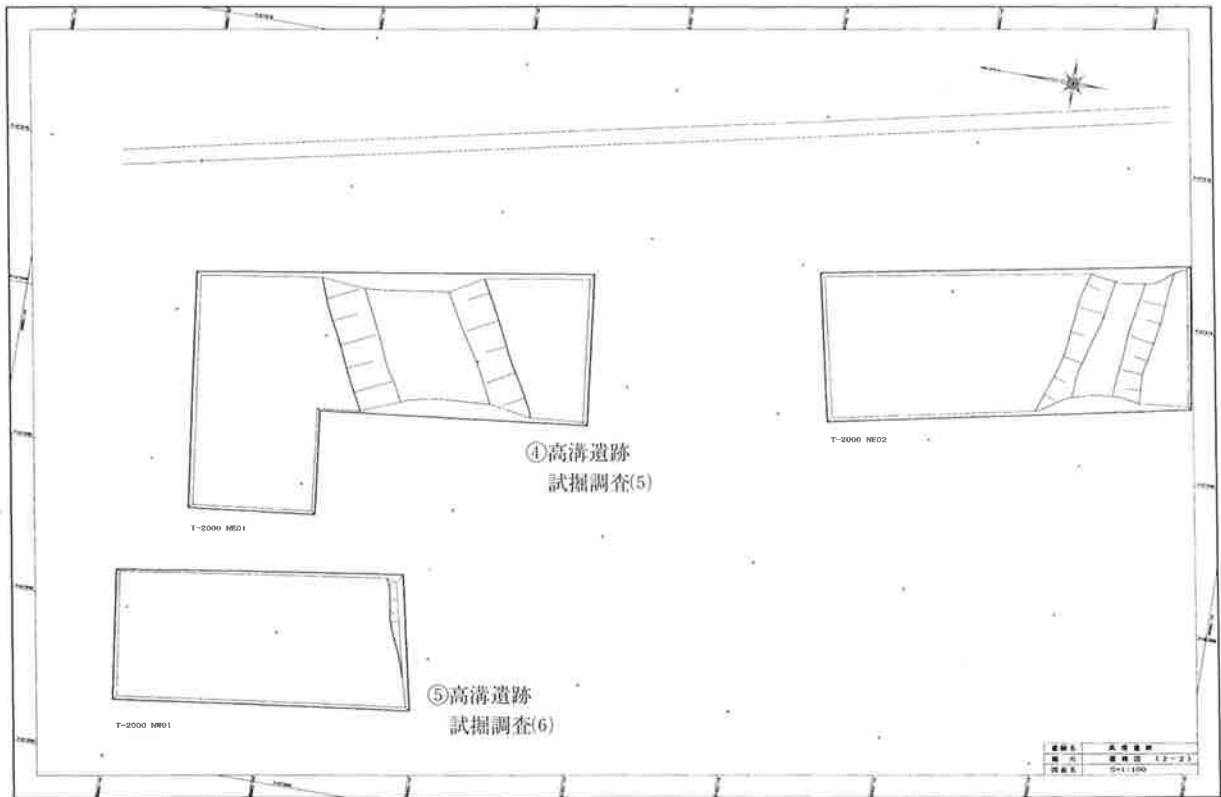
### ④ 碓遺跡

弥生時代前期・古墳時代前期・同後期・奈良時代・平安時代にわたる複合遺跡。これまでに計6回におよぶ発掘調査が実施されるほか、約70回ほどの試掘調査が展開される。

県営ほ場整備に関連した第1次調査では、古墳時代前期の集落遺構と奈良・平安時代の建物遺構が確認されている。工場建設に関連した第2次調査では、奈良・平安時代の



第3図 高溝遺跡遺構図1 (S=1/250)



第4図 高溝遺跡遺構図2 (S=1/250)

道路遺構と建物遺構が確認されている。これら2つの調査は、いずれも遺跡周知範囲の北西部を対象としており、一級河川土川左岸域に遺跡のひろがりが見られている。

また遺跡周知範囲の東端では第4次調査が実施され、平安時代中期の遺構が確認されている。土川の左岸域には、碇遺跡・狐塚遺跡・法勝寺遺跡といった大規模な複合遺跡が乱立しているが、これらでは平安時代中期の遺物が要所要所で確認されている。

さらに遺跡周知範囲の南端では宅地造成や個人住宅建設にともなう調査が急増している。第3次調査では弥生時代前期の竪穴住居跡、第5次調査では古墳時代前期の大溝、第6次調査では古墳時代後期の溝などが、それぞれ発見されている。

町内遺跡発掘調査では試掘調査54件・発掘調査1件（第4次調査）を実施しているが、その大半で遺構の広がりが確認されている。第4次調査では計6箇所の調査トレンチを設定したが、そのうち第3トレンチでは地表下約60cmの遺構面直上から、黒色土器椀と灰釉陶器皿が1点ずつ出土した。遺物の詳細については次章で説明する。

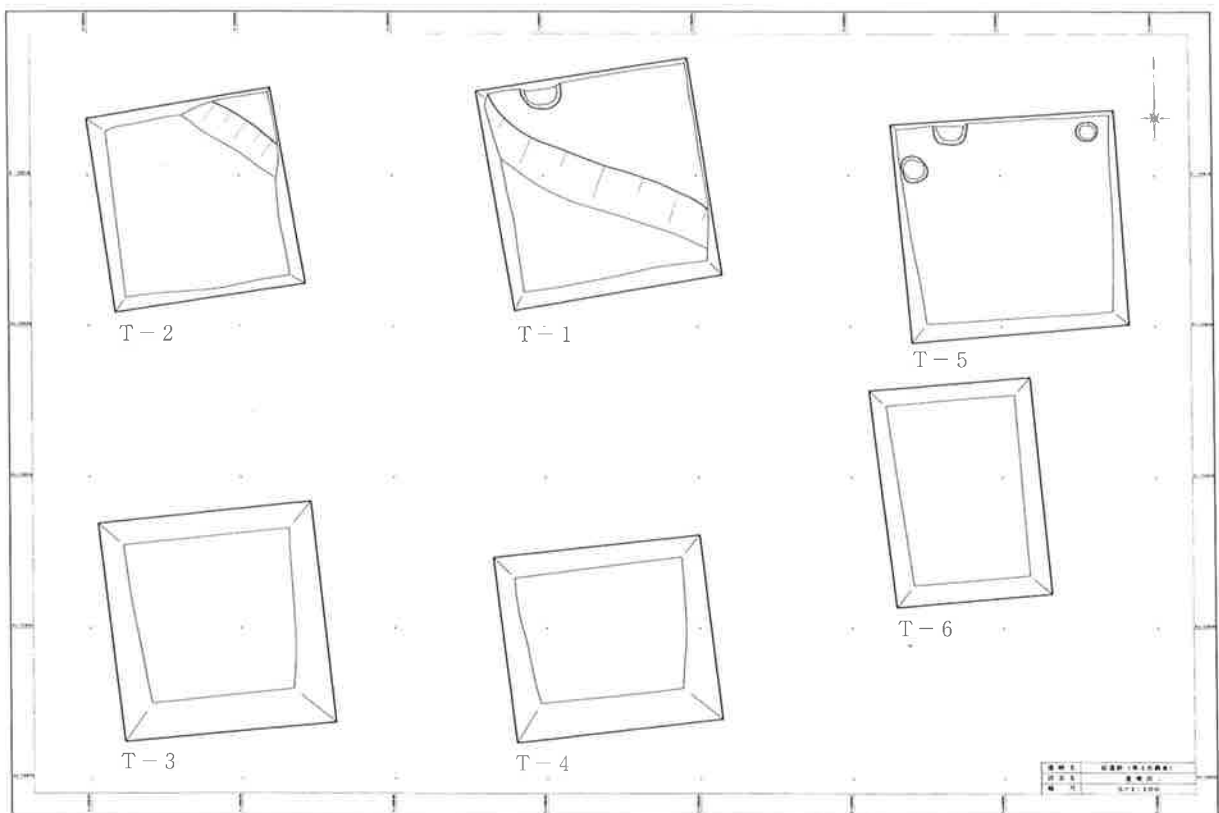
#### ⑤ 西火打遺跡

平安時代の集落遺跡。一般国道8号（米原バイパス）に関連して滋賀県教育委員会・（財）滋賀県文化財保護協会が第1次調査を実施し、条里制施工に伴う平安時代の管理物群が発見されている。第2次調査は、県営ほ場整備に関連して実施されたが、具体的な遺構や遺物は確認されていない。

町内遺跡発掘調査では、平成15年度に第1次調査の東隣接地において携帯電話基地局建設に関連して試掘調査を実施した。この試掘調査では柱穴・溝などが出土したが、出土遺物がなく、年代などは明らかになっていない。



第5図 今井屋敷遺跡調査位置図 (S=1/5,000)



第6図 礎遺跡第4次調査位置図 (S=1/250)

## 第4章 礎遺跡第4次調査の出土遺物

### (1) 黒色土器椀

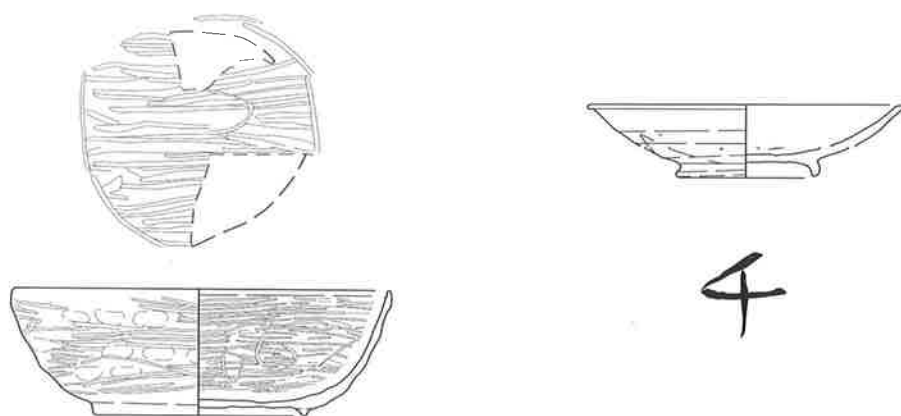
内黒の黒色土器A類椀である。器高5.6cm、口径16.2cm、高台径9.0cmを測る。胎土には微細な金雲母を多く含む。杯形の器形に輪高台を貼り付けたタイプであり、口縁端部内面に一条の沈線が巡る。器壁は薄く、内外面ともにていねいなヘラミガキを施す。体部内面には横方向のヘラミガキ後、らせん状の暗文を施す。内底面には平行なヘラミガキを施す。口縁端部外面はヨコナデを施した後、体部外面は指頭圧調整後、斜め横方向のヘラミガキを施す。底部外面は指頭圧調整を施す。

畿内系黒色土器A類の椀で、搬入系土器である。器形も、この後出現する在地系黒色土器A類は椀形に近い形態を呈するが、まだ杯形を呈している。近江における内黒黒色土器が在地生産される前段階、9世紀後半の製品と考えられ、畿内との関係を示す遺物である。

### (2) 灰釉陶器皿

ツケガケ手法による灰釉陶器皿である。器高3.2cm、口径13.7cm、高台径5.8cmを測る。口縁端部は外反し、三日月高台を呈する。底部内外面には施釉せず、口縁部から体部外面にかけて灰釉をツケガケする。口縁部内外面・体部内面は回転ナデを施し、体部外面は回転ヘラ削りを施す。底部外面には「千」と墨書される。

猿投窯の折戸53号窯式(以下O-53と略す)に相当し、10世紀前半の年代が与えられる。近江地域の灰釉陶器については、O-53段階にその出土が一般化され、この段階になると東濃系が主流となる傾向がみられる。O-53は、東濃窯大原2号窯式と並行関係を示す。猿投窯においてO-53段階にはケズリ調整の省略化が開始されるが、東濃窯においては次段階までケズリ調整が主流となる。この資料も、体部外面のケズリ調整がていねいに施されている。近江地域において灰釉陶器の出土が一般化される早い段階の遺物である。



第7図 礎遺跡第4次調査出土遺物 (S=1/4)

## 第5章 ま と め

平成2年度より15年間にわたって実施した近江町内遺跡発掘調査では、町内で周知されている多くの遺跡の実態を明らかにすることができた。過去5年単位で刊行してきた報告書の刊行も今回で3回目となる。この事業では小規模な試掘調査が中心となっているが、細かく調査を持続してきたことで、地下に眠る埋蔵文化財の実態が明らかになりはじめた。

今回報告対象となった平成12年度から16年度までの5年間では、試掘調査64件・発掘調査1件を実施している。同時に実施した息長古墳群確認調査については、次年度において別個に報告を予定している。試掘調査・発掘調査の傾向については、住宅地造成・個人住宅・携帯電話基地局などを調査原因とするものが増加の傾向にあるほか、集落単位で実施されるまちづくり事業を原因とするものも新たに加わっている。

周知の埋蔵文化財包蔵地は、近江町内に現在108箇所のもが知られているが、中でも碓遺跡・高溝遺跡・西火打遺跡など一般国道8号（長浜バイパス）周辺で調整協議や調査が急増の傾向にある。今後、地域が発展する中で、地域文化の基盤を築いた遺跡の実態がさらに明らかにされていくことを期待したい。

末筆になったが、近江町教育委員会の実施する埋蔵文化財の保護調査事業に際して、暖かい配慮・支援・理解をいただいたことに謝意を表す次第である。

### 参考文献

- ① 宮崎幹也1991『近江町文化財調査報告書第11集 碓遺跡2』近江町教育委員会
- ② 宮崎幹也1995『近江町文化財調査報告書第18集 近江町埋蔵文化財調査集報1 一町内遺跡発掘調査報告書一』近江町教育委員会
- ③ 宮崎幹也2001『近江町文化財調査報告書第21集 近江町埋蔵文化財調査集報3 一町内遺跡発掘調査報告書一』近江町教育委員会
- ④ 宮崎幹也2001『近江町文化財調査報告書第22集 近江町埋蔵文化財調査集報4』近江町教育委員会
- ⑤ 宮崎幹也2003『近江町文化財調査報告書第24集 息長古墳群3』近江町教育委員会
- ⑥ 宮崎幹也2004『近江町文化財調査報告書第26集 碓遺跡 一第5次発掘調査一』近江町教育委員会
- ⑦ 宮崎幹也2005『近江町文化財調査報告書第28集 碓遺跡 一第6次発掘調査一』近江町教育委員会



# 圖 版



調査前状況



試掘調査風景



高溝遺跡 試掘調査（5）



高溝遺跡 試掘調査（5）



礎遺跡 試掘調査風景



高溝遺跡 試掘調査（5）



碗遺跡第4次調査 T-3



碗遺跡第4次調査出土遺物（灰釉陶器・黑色土器）

# 報告書抄録

ふりがな	おうみちょうまいぞうぶんかざいちょうさしゅうほう							
書名	近江町埋蔵文化財調査集報 5							
副書名	町内遺跡発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	近江町文化財調査報告書							
シリーズ番号	第27集							
編集著者	宮崎幹也							
編集機関	近江町教育委員会							
所在地	〒521-0072 滋賀県坂田郡近江町顔戸1513 ☎0749-52-3483							
発行年月日	西暦2005年 3月31日							
ふりがな 収録遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡					
いかりいせき 碓 遺跡 ほか	しがけん 滋賀県 さかたぐん 坂田郡 おうみちょう 近江町 うかの 宇賀野	254649		35° 20′ 30″	136° 17′ 45″	20040401 ～ 20050331	計 m <sup>2</sup>	個人住宅 ほか
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
碓遺跡	集落跡	古墳時代 平安時代	溝 土壇	土師器・ 須恵器				
今井屋敷遺跡	城跡	その他	柱穴	土師器				
高溝遺跡	集落跡	古墳時代 平安時代	溝	土師器・瓦・ 須恵器				
辻ノ前遺跡	散布地	古墳時代						
西火打遺跡	集落跡	平安時代	溝 土壇					

近江町文化財調査報告書第27集  
近江町埋蔵文化財調査集報 5  
—町内遺跡発掘調査事業—

2005年3月

編集・発行 近江町教育委員会  
〒521-0072 滋賀県坂田郡近江町顔戸1513  
電話 0749-52-3483

印刷 大津紙業写真印刷株式会社  
〒520-2152 滋賀県大津市月輪一丁目9-33  
電話 077-544-0190